

【地区の魅力】

地区の北端に操山の丘陵地、南端に児島湾、地区の中央を南北に百間川が流れるという丘陵地と河川・水辺がこの地区の景観構造を形成している。

地区の大部分は、沖新田などの干拓事業で整備された広大な農地と農家集落で構成され、雄大な農業景観が広がっている。

地区内の道路基盤は、ごぼんの目のように構成されており、道路沿いには農業用水路が縦横無尽に流れ、干拓当時から残る地割とともに特徴的な景観を形成している。

操山の南斜面には、東西方向に主に低層住宅を主体とした良好な住宅市街地が形成されており、これら住宅地内には多くの水路が流れ、住宅地景観の構成要素となっている。

曹源寺地区は「ホタルの里」に指定され、自然と歴史に恵まれ、寺社と一体となった落ち着いた景観が形成されている。

【地区の課題】

操山などの市街地を囲む丘陵地は、できるだけ維持・保全されることが必要である。

百間川や水路などの水辺空間を活かし、市街地のアメニティを高めることが必要である。

国道2号や県道岡山玉野線や岡山牛窓線等の主要な幹線道路沿道では、良好な沿道景観の形成が必要である。

操山のゆるやかな斜面地に広がる市街地では、地形を活かした良好な住宅地景観を形成することが必要である。

【景観づくりの目標】

古人の労力により形成された干拓地は、岡山独特の景観資源であり、点在する農家集落とあわせて、広大な干拓の農業景観を維持・保全していくとともに、操山の緑豊かな山並み、百間川の水辺空間などの自然と人の営みが調和した景観づくりを目指す。

【地区の魅力となる景観資源】



地形を活かした良好な住宅地



芥子山を背景にした雄大な農業景観



地域の歴史を語り継ぐ沖田神社



歴史的な社寺（曹源寺）



沖新田の広大な干拓地景観



憩いの親水空間である百間川

【景観づくりの方針】

方針	具体的な方向
1. 広大な農業景観を維持・保全する	まとまった農地を適切に維持し、広大な農業景観を守る。
2. 百間川や水路の水辺空間を活用する	百間川の水辺を貴重なアメニティ空間として活かす。 倉安川など水路の親水性を高め、市街地のアメニティを高める。
3. 操山の緑地の景観を保全する	市街地の背景となる斜面緑地を守る。
4. 幹線道路の沿道景観を修景する	屋外広告物の形態・意匠コントロールする。 緑豊かな美しい沿道景観を形成する。
5. 良好な住宅地や歴史・集落景観を維持・保全する	計画的住宅市街地の良好な景観を維持・保全する。 伝統的農家集落の景観を保全する。 社寺などの歴史的景観を維持・保全する。
6. 一般市街地の景観を誘導する	地形になじんだ住宅地景観を形成する。 大規模工場などの色彩等を整える。

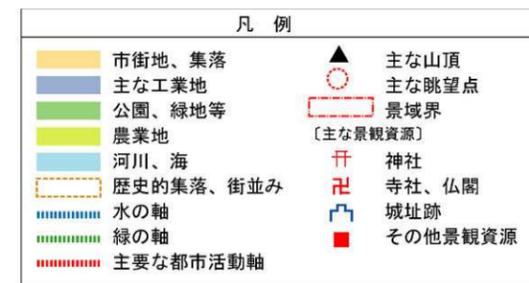


図 景観づくりの方針

